

みんなで使おう

イーバッグ

e bag



環境課 66 1121

このバッグは、蒲都市の特産品である「三河木綿」を材料としています

買った物バッグを作りました

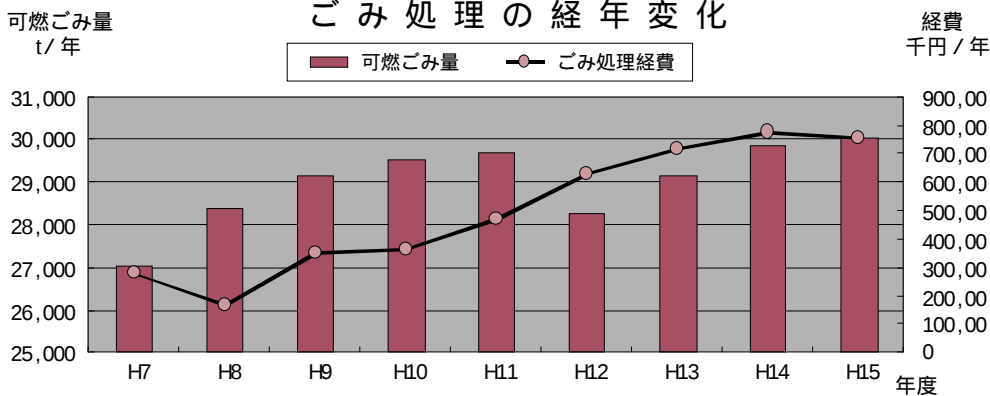
蒲都市では、無駄なレジ袋を少しでも減らしていくために、レジ袋の代わりに使う布製の買った物バッグを作りました。皆さんが買った物に行く時にお持ちいただき、不要なレジ袋を受け取らないようにしていただくためのバッグです。そして、皆さんに親しんでいただくために、「e bag」（イーバッグ）と名付けました。e bagの「e」は「environment」（環境）、「ecology」（生態環境）などの意味が込められています。このバッグは、4月下旬ころ地区役員さんを通じて、市内全戸に1枚ずつ配布します。

ごみの減量にご協力を

●無駄に税金を使わないために
ごみ処理には、とてもたくさんのお金がかかります。現在、市全体では、可燃ごみの処理に年間7億5千万円以上を要し、市民1人あたりに換算すると、約9千200円にもなります。

しかも、可燃ごみの量は年々増加し、現在では、年間約3万トン

ごみ処理の経年変化



注) ごみ処理経費は、施設委託料、修繕料、光熱水費、人件費などで建設費を除いています。

にもなっています。その中でも、包装紙やレジ袋などの容器包装類が大きな割合を占めています。ごみを減らすためには、皆さん一人ひとりの、常日ごろからのちょっとした心がけがとても大切です。